

**コンゴ(民)月例報告  
政治関連  
2016年5月**

**主な出来事**

●4日、カトゥンビ前カタンガ州知事が大統領選挙への出馬を表明。これまでに3つの野党組織(G7、Collectif des Nationalistes、AR)が、同氏を統一候補として選出している。

●4日、タンブエ司法大臣は、カトゥンビ氏の外人傭兵雇用疑惑に関する調査開始を発表。これに対しカトゥンビ氏本人は、4月24日に逮捕された米国人ダリル・ルイス氏は、安全対策に関する助言を行うコンサルタントであると反論。

●11日、憲法裁判所は、年内に大統領選挙が実施されない場合、カビラ大統領は、自身の任期を過ぎる年末以降も、大統領の座にとどまれるという裁決を下した。裁判長は、国家の継続性という原則と、国家元首の不在を避けるため、「新たに選出される大統領の就任まで、現大統領がその職にとどまる」という憲法第70条の解釈が優先すると判断、野党はこれに強く反発している。

●13日、ドラキア英大湖地域特使は、選挙プロセスの問題、野党らに対する抑圧に関し、責任者を対象とした制裁を意図するコミュニケを発表、また、在コンゴ(民)米大はメディアに対し、国際社会のパートナーとの調和をはかった上での制裁可能性を示唆した。

●14日、国連専門家グループ(GoE)最終報告書が、コンゴ(民)東部の大量虐殺に関し、FARDC 将校とADF の関連を告発したと報道された。また、北朝鮮製武器の存在にも言及。

●18日、国際刑事裁判所(英:ICC/仏:CPI)で、元副大統領ジャン＝ピエール・ベンバ被告の公判が行われ、弁護側の12～14年に対し、検察側が25年を求刑した。

●19日、ルブンバシ控訴院の検事総長は、カトゥンビ前カタンガ州知事を、外人傭兵雇用で正式に告訴、また、仮逮捕状が出された。

●20日夜、モイズ・カトゥンビ前カタンガ州知事は、海外での医療行為を受けるため、医療用航空機でルブンバシ国際空港からヨハネスブルグに向けて出国した。コンゴ(民)当局は、現在係争中の案件について語らないことを条件に、南アでの治療を許可したことを発表。また28日、同氏は南アからロンドンに移動した。

## 1. 内政

### (1)チバンダ外相が政治情勢に関し公式声明

・24日、コンゴ(民)外務省はチバンダ外相名で、国際社会からの制裁可能性の発言をはじめ、内政干渉を非難する公式声明を発表した。

### (2)野党の動向

#### ア 野党連合ARがカトゥンビ前カタンガ州知事を大統領統一候補として選出

・1日、新たに発足した野党連合「Alternance pour la Republic(AR、共和国のための政権交代)」のセサンガ代表は、カトゥンビ前カタンガ州知事を同連合による大統領選挙統一候補として選出したと発表した。ARは野党16の小政党による連合。

#### イ カトゥンビ前カタンガ州知事が大統領選挙への出馬を表明

・4日、カトゥンビ前カタンガ州知事は自身の Twitter を通じ、大統領選挙への出馬を表明するコミュニケを発表した。これまでに G7、Collectif des Nationalistes(愛国者集団)、Alternance pour la Republic(AR、共和国のための政権交代)の3つの野党組織が、統一候補として同氏を選出して

いる。

#### ウ 政府がカトゥンビ前カタンガ州知事の外人傭兵雇用疑惑に関する調査を開始

・4日、タンブエ司法大臣は、カトゥンビ氏の外人傭兵(米国人を含む)雇用疑惑に関する調査を開始すると発表した。同大臣によると、現在、旧カタンガ州にいる数人の元米兵が、カトゥンビ氏に仕えている。

・5日、在コンゴ(民)米大は、外人傭兵の活動に関するタンブエ司法大臣の記者会見における発言は真実ではなく、4月24日に逮捕された米国人ダリル・ルイス氏は、米系民間企業のコンサルタントとの見解をコミュニケで発表した。

・5日、カトゥンビ氏はインタビューに答え、ルイス氏は、カトゥンビ氏に安全対策に関する助言を行うコンサルタントであると説明、また、MONUSCOに対し、自身の保護を要請する書簡を送ったと発表した。

・6日、右米大発コミュニケに対し、メンデ・メディア大臣兼政府報道官は、ルイス氏は4月24日に現行犯逮捕されており、政府による申し立てが虚偽とするのは適切ではなく、また、ルイス氏は武器と治安分野の専門家であると認めているのに対し、同人のビザが農業専門家として取得されたことが問題であるとのコミュニケを発表した。

#### エ カトゥンビ前カタンガ州知事の安全確保に関する動き

・5日、カトゥンビ氏は、MONUSCO に対し、自身の保護を要請する書簡を送ったと発表した。同氏によると、大統領選挙への出馬を表明して以降、5日朝から、同氏の自宅が治安当局によって4回にわたり包囲されており、また、同氏のボディガード2名も、自宅で逮捕された由。

・7日、レンデルス・ベルギー副首相兼外務大臣は訪問先のエルサレムで、カトゥンビ氏が7日朝、ルブンバシのベルギー領事館を訪れ、近日中における自身の状況を懸念していると伝え、同国からの保護を要請したと発表した。

#### オ カトゥンビ前カタンガ州知事が外人傭兵雇用に関する聴聞のためルブンバシ裁判所に出頭

・オー・カタンガ州ルブンバシ市の検事長は、カトゥンビ氏に対し、外人傭兵雇用疑惑に関する聴聞のため、9日に裁判所への出頭を要請した。また、7日、カトゥンビ氏の弁護団は、出頭命令を公式に受理した。

・9日午前10時、カトゥンビ氏は数百名の支持者に囲まれてルブンバシ裁判所に向かい、カトゥンビ夫人やキング UNAFEC 党首、弁護士ら約100名とともに裁判所に出頭。聴聞は非公開とされ、7時間にわたって行われた。

・11日、カトゥンビ氏に対する2回目の聴聞がルブンバシ裁判所で行われた。カトゥンビ氏を保護するかのごとく集まった数千人の支持者は、同氏が裁判所内に入った後、警察が催涙ガス弾を用いて排除した。

#### カ カトゥンビ前カタンガ州知事の弁護団にエリック・デュボン＝モレッティ弁護士が参加

・10日、カトゥンビ前カタンガ州知事の弁護団に、新たにエリック・デュボン＝モレッティ(Eric Dupond-Moretti) 弁護士が加わった。同弁護士はフランス人で、最も評判の高い弁護士かつ刑法学者で、フランス法曹界の大物。

#### キ カトゥンビ前カタンガ州知事が正式に告訴され、仮逮捕状が発行

・19日、ルブンバシ控訴院(cour d' appel)の検事総長は、カトゥンビ前カタンガ州知事を、外人傭兵雇用で正式に告訴、また、仮逮捕状が出された。

#### ク 野党 ECiDe のファユル党首経営のホテルが封印される

・19日、マルタン・ファユル ECiDe 党首がキンシャサ市で経営し、同党首の自宅も兼ねるホテル Faden House が封印され、ホテル玄関等、建物の内外に多くの警告書が張り出された。キンシャ

サ市税務当局(DGRK)はこの措置について、税金未納が理由と説明、ファユル党首は DGRK の説明を否定した。

#### ケ モイズ・カトゥンビ前カタンガ州知事が南アに出国、その後ヨーロッパへ

・20日夜、モイズ・カトゥンビ前カタンガ州知事は、海外での医療行為を受けるため、夫人と医師の付き添いのもと、医療用航空機でルブンバシ国際空港からヨハネスブルグに向けて出国した。この数時間前にコンゴ(民)当局は、同氏からの海外での治療要請に応じ、現在係争中の案件について語らないことを条件に、南アでの治療を許可したことを発表した。  
・28日、カトゥンビ氏はロンドンでの治療のため、南アから出国したと、同氏の弁護士が語った。

#### コ 野党連合ダイナミックを中心とする野党による全国規模の抗議行動

・26、カビラ大統領の任期にかかる憲法裁判所の裁定と、北キブ州ベニでの虐殺に対する抗議行動が、野党連合ダイナミックを中心とする野党政党により全国規模で組織された。キンシャサでは当局がデモを許可し、約3000名の支持者がデモ行進に参加、デモが不許可となった北キブ州ゴマ市では、市民1名の死亡が報道された。

### (3)選挙の動向

#### ア 憲法裁判所が大統領選挙実施までカビラ大統領が職務継続と判断

・11日、憲法裁判所は、年内に大統領選挙が実施されない場合、カビラ大統領は、自身の任期を過ぎる年末以降も、大統領の座にとどまれるという裁決(l'arret)を下した。ルワンバ憲法裁判所裁判長は、国家の継続性という原則と、国家元首の不在を避けるため、「新たに選出される大統領の就任まで、現大統領がその職にとどまる」という憲法第70条の解釈が優先するとの判断を示したもので、野党はこれに強く反発している。

### (4)独立国家選挙委員会(CENI)の動向

#### ア 選挙人登録カード改正に関するパイロット試験を開始

・8日、CENI は、選挙人登録カード改正に使用される登録キット、発電機等のパイロット試験を、キンシャサ市の国立教育大学(UPN)と中央コンゴ州のムバンザ＝ンゲングで開始した。

#### イ 韓国の選挙委員会ミッションが CENI と意見交換

・20日、CENI は、選挙人登録データの迅速かつ安全な送付について、韓国の選挙委員会ミッションと意見交換を行った。同ミッションの滞在は6日間の予定で、キンシャサに続き、南キブ州を訪れる。

## 2. 東部及び大湖地域情勢

### (1)北キブ州ベニで ADF が村民17名を殺害

・3日夜から4日早朝にかけ、ADF(民主同盟軍)が北キブ州ベニの北東約60キロにあるエレンゲティ村(Erengeti)を襲撃、少なくとも17名の村民の死亡が確認されたと FARDC のハズカイ・ソコラ作戦報道官が報じた。ベニの地区長によると、ADF は、鉈や斧で村民を切りつけた(4日付 AFP)。

### (2)赤十字国際委員会(ICRC)現地スタッフが誘拐される

・3日、赤十字国際委員会(ICRC)の現地スタッフ(運転手)3名が、北キブ州ルチュル地区で武装した何者かに誘拐された。  
・4日、これを受けて ICRC は、新たな指示があるまで、同州内での活動に伴う移動を中止した。  
・7日、ICRC は、誘拐されていた現地スタッフ3名全員が釈放されたと発表した。また、身代金の支払いについては否定した。

### **(3) 国連専門家グループ(GoE)最終報告書が FARDC 将校と ADF の関連、北朝鮮製武器の存在に言及**

- ・14日付ロイター等は、12日に安保理コンゴ(民)制裁委員会に配布された国連専門家グループ(GoE)最終報告書の別添報告書について、コンゴ(民)東部の大量虐殺に関し、コンゴ(民)国軍(FARDC)将校と ADF の関連が告発されていると報じた。
- ・15日付 RFI 等は、3日に安保理コンゴ(民)制裁委員会に配布された国連専門家グループ(GoE)最終報告書において、国連平和維持軍のコンゴ(民)兵士と警察官が、北朝鮮製武器を所持していたと報じた。

### **(4) コンゴ(民)政府と旧 M23 がナイロビ宣言の評価会議を開催**

- ・27-28日、キンシャサにおいて、旧 M23 代表と、コンゴ(民)政府によるナイロビ宣言の評価会合が開催され、ジニット国連大湖地域担当特使をはじめ、MONUSCO、SADC、アフリカ連合、大湖地域国際会議(ICGLR)からの代表も参加した。

## **3. その他**

### **(1) パパ・ウェンバ氏の葬儀**

- ・2-3日の二日間、客月24日にアビジャンで客死したコンゴ(民)の国民的歌手パパ・ウェンバ氏の弔問が国会議事堂で行われた。
- ・4日、パパ・ウェンバ氏の遺体は、キンシャサ市のノートルダム大聖堂に移され、モンセングオ枢機卿(Laurent Monsengwo、バチカンの枢機卿評議会8名のひとり)に加え、約60名の大司教、司祭らによって追悼ミサが執り行われ、大聖堂内には2000名の参列者、また、大聖堂の周囲には約1万名の市民が詰めかけて、パパ・ウェンバ氏の死を悼んだ。キンブタ・キンシャサ市長は弔辞で、パパ・ウェンバ氏の功績をたたえ、パパ・ウェンバ廟を建設することを表明、遺体は40日後に墓地から廟に移される予定。

### **(2) 憲法裁判所の裁決に対するフランスの反応**

- ・12日、仏外務省は、前日11日にコンゴ(民)の憲法裁判所が、カビラ大統領の任期が切れる今年12月末以降も、同大統領が大統領の座にとどまれるという裁定を行ったことに対し、選挙の早期実施に向けた準備と、東部情勢の安定化を要請するコミュニケを発表した。

### **(3) 野党に対する威嚇行為、選挙プロセス遅延等に対する英・米による制裁の可能性**

- ・13日、ドラキア英大湖地域特使は、選挙プロセスの問題、野党らに対する抑圧に関し、責任者を対象とした制裁を意図するコミュニケを発表した。
- ・13日、在コンゴ(民)米大使は、制裁に関するメディアからの質問に対し、国際社会のパートナーとの調和をはかった上で、制裁の可能性を示唆した。

### **(3) 国際刑事裁判所がベンバ被告に25年の求刑**

- ・18日、国際刑事裁判所(英: ICC / 仏: CPI)は、元副大統領で今年3月に、殺人及び強姦に関する人道に対する犯罪並びに殺人、強姦及び略奪に関する戦争犯罪で有罪判決が下されたジャン＝ピエール・ベンバ被告の公判が行われ、弁護側の12～14年に対し、検察側が25年を求刑した。判決は追って行われる。